



# 河南町男女共同参画

2025年12月



## ニュース

## NO.80



### 【開催報告】

### 平和・人権バスツアー（淡路島・北淡震災記念公園）



令和7年10月14日(火) 晴れ 参加者 65名 充実した1日になりました！！

参加者の感想(アンケートから抜粋)

- ・断層見学だけでなく、実際に経験された方の話を聞けたことが良かったです。ありがとうございました。
- ・北淡震災記念公園での講座を聞いて今後、地区として考えていかないとと思いました。大変良かったです。
- ・避難所での人権問題について考えさせられました。
- ・初めての参加だった。いろいろと見聞が出来、非常に勉強になった。次回もこのようなツアーがあれば参加したい。
- ・今回は北淡町の震災後の様子を詳しく聞かせて貰ってきれいごとではない部分に改めてその対策も考えながら自分にできる事を精一杯準備しなければと思いました。

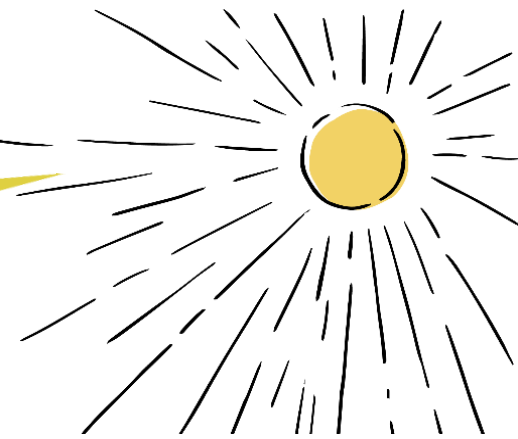
## 12月4日～12月10日は「人権週間」 12月10日は「人権デー(Human Rights Day)」です

1948年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、1949年から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

## 「誰か」のこと じゃない！。

# ジェンダー視点で防災を考えよう

防災には女性の視点が必要！！



## 災害時には平常時における社会の課題が顕在化

### 平常時の社会の課題

意思決定の場に女性が少ない／いない



災害対応や復旧・復興で女性の意見やニーズが反映されず、必要な支援・物資が提供されない

「男性は仕事」「女性は家庭」といった性別を理由とした役割分担意識が根強い



避難所運営で男性がリーダー、女性は食事や片付けなど、特定の役割が片方の性別に偏る

DVや性暴力など女性に対する暴力



避難所などでプライバシーが守られないことや、様々なストレスや制約が重なることなどによりDV・性暴力のリスクが高まる

女性は非正規雇用で働く場合が多い  
(※女性の被雇用者のうち、非正規雇用で働く人の割合は約56%)



解雇、雇い止めなどの対象になりやすく、世帯収入が減る・途絶する

出典：「労働力調査（基本集計）2019年度（令和元年度）」総務省

## 男女共同参画の視点に立った取組を進めると

- ・意思決定の場に女性が参画し、防災対策に女性の視点が入ることで、女性と男性の異なるニーズや課題が的確に把握される
- ・高齢者、障害者、乳幼児などの介護・介助をするケア者（多くの場合女性）のニーズを踏まえた支援ができる

女性と男性で異なる被害の影響が軽減される  
要配慮者の支援が充実する

→ それにより、被害全体が縮小する

- ・男女共同参画部局・男女共同参画センターと連携し、防災・復興のあらゆる施策に女性の視点が組み込まれる
- ・女性の防災人材の育成により、地域で女性の防災リーダーが増える
- ・女性の視点からの災害対応について男性の理解が深まる

女性と男性がともに防災・復興に参画し、協力する

→ それにより、災害に強い社会が作られる





# 【これからの地域防災】

## 女性が力を発揮するためのノウハウ集

### ① 参加したくなる防災活動にする！

#### 防災以外の地域活動と結びつけてみましょう

- お祭りに併せて防災訓練を実施するなど、子供と一緒に参加したくなる工夫をする

#### 防災と日常をつなげて啓発活動を行いましょう

- お茶を飲みながら、ちょっとした備え、知っておきたい知識、家族や自分を守る術を学ぶ  
カフェ形式の訓練を実施する

#### 組織の活動に見える化しましょう

- ホームページやブログ、SNSなどのICTを活用し、組織の活動内容をわかりやすく紹介する

#### 他分野で活動している女性たちを巻き込みましょう

- 福祉分野での防災、環境分野での防災など、既に実施している活動に防災をつなげ、必要性を理解してもらう

### ② 女性と男性がともに参画する体制をつくる！

#### 組織のルールを決めましょう

- 副会長を男女1名ずつにするなど、責任のある立場を男女両方が担う体制にする
- 炊き出しやトイレ設営にも男女両方が関わるなど、役割を性別で固定しない

#### 役割を担う人の数を増やしましょう

- 1つの役を複数人で担うなど、運営の中核メンバーの人数を増やす
- お祭りや運動会など、地域行事での役割を防災活動にスライドさせる

#### 地域でお互いに相談し合える関係性をつくりましょう

- 婦人会やPTA、民生委員など、地域で既に活動している女性に意見を聞く
- 人数の少ないグループで自由に意見交換や相談し合えるよう、女性部会などの女性の防災グループをつくる

### ③ 主体性を尊重し合う組織にする！

#### 活動しやすくするためのツールを作ってみましょう

- 防災訓練やイベントなどで、ツールを使って発表する場をつくる
- 自作したモノを使って、防災啓発のイベントやセミナーなどを地域で開催する

#### 得意なことを持ち寄って協力しましょう

- 新たな提案やアイデアを否定しない。楽しんで活動することを大切にする
- 発案者が中心になり、話すのが得意、絵を描くのが得意、工作が得意、お金の管理が得意など、得意なことを持ち寄って実現する

#### 女性たちの活動を地域の男性が知る機会をつくりましょう

- グループを作り活動している女性たちに、地域の防災イベントのブースやコーナーを担当してもらい、活動している女性たちと地域がお互いの活動内容を知り合う
- 自主防災組織連合会などの活動報告会で女性たちが活動を発表するなど、自主防災組織の会長たちが女性の活動について知る

## ④ 生活スタイルに合わせて柔軟に運営する！

### 一人あたりの負担を減らしましょう

- ・ 1回あたりの活動時間を短くして参加しやすくする。曜日や時間帯にとらわれず自由な時間に活動できる場所を確保する
- ・ 活動を手伝ってもらったり、イベントと一緒に参加するなど、活動に家族も巻き込む

### ICTなどのツールを活用して情報を共有しましょう

- ・ LINEやチャット、オンライン会議システムなどのツールを使って、会わなくても意見交換や情報共有できるようにする
- ・ 高齢者向けにツール活用講座を行い、誰もが使えるようにする

### 柔軟に活動できる組織にしましょう

- ・ 人それぞれの事情に合わせて、可能な範囲で参加できる雰囲気をつくる
- ・ 計画どおりにできないことがあっても、できたことを認め、「まあ、いっか」と切り替える
- ・ 自分のライフスタイルの変化に伴って、役員を辞めたり戻ったりできるようにする

## ⑤ 自分の考えを発言できる環境をつくる！

### 会議で話しやすくなる工夫をしましょう

- ・ 会議の主催者は、出席者全員が発言できるようにする
- ・ 女性が少ない会議の場合は、女性を複数入れることで、発言しやすくする
- ・ 女性部会など、女性だけで話せる場をつくり、発言しやすくする

### 会議や発表にそなえ準備をしっかりと進めましょう

- ・ 参加する前にしっかりと準備できるよう、会議の議題や講座の目的など、何について話す場面なのかを事前に共有する
- ・ 専門用語などの難しい言葉だけでなく、自分が普段使っている言葉を使うよう促す

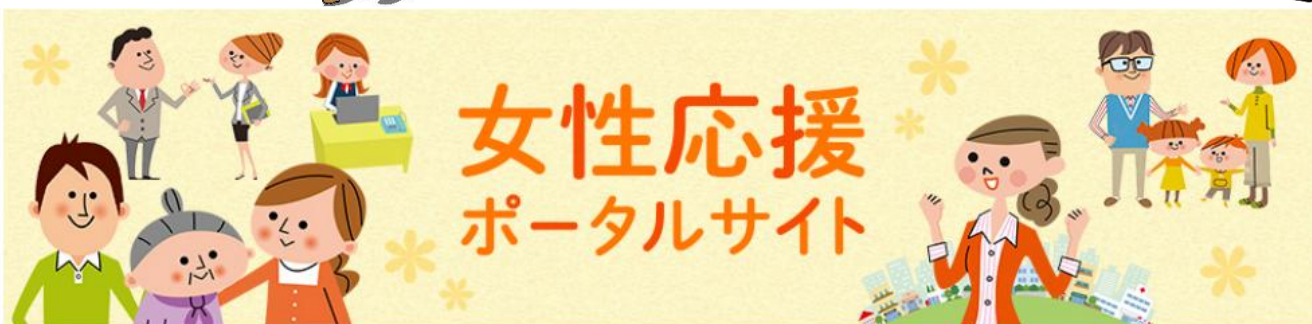
女性が力を発揮できれば、災害に強い地域をつくることができます！！

**さあ、できることから始めましょう**



【参考】内閣府 災害対応力を強化する女性の視点

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/>



女性応援ポータルサイトとは・・・

<https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/ouen/>

「女性応援ポータルサイト」では、「安心して出産をしたい」「地域で活躍したい」など、様々なライフステージにある女性のニーズに応える形で、政府の支援情報などを紹介しています。男性の子育てに役立つ情報も掲載されています。是非、ご活用ください。